

# インターネット、 きちんと使えていますか？

## 子どもが保護者に内緒でゲーム課金

ある日クレジットカードの利用明細に、ゲームアイテム購入など20万円程の請求が上がっていることに気付きました。業者に問い合わせると、中学2年生の子どもが自分のスマホから、保護者のクレジットカードを使って課金していたことが分かりました。

このような事例は「未成年者取消」の交渉ができますが、保護者のクレジットカードの管理責任を問われることもあります。子どもがスマートフォンを使うにあたり、保護者側で課金制限をかけるなどの配慮をしていれば、この種のトラブルは防げるといえます。課金の方法は、クレジットカード決済だけでなく、保護者の財布から現金を持ち出しコンビニで電子マネーを買っての課金や、携帯の通信料と共に支払うキャリア決済の利用などもあります。保護者は、クレジットカードだけではなく、金銭全般についても適切に管理する必要があります。



## ネットショッピングのリスク

近年、ネットショッピングによって、さまざまなリスクが発生しています。代表的なトラブルを紹介します。

①「お試し」という表示を見て、サブリメントを申し込んだら、高額な定期購入でした。

「定期購入」のトラブルは、申込時の画面に、「定期購入であること・総額の表示」などがなかった場合、解約交渉が可能になることがあります。

②ブランドのバッグが格安だったので申し込み、代金前払いで業者の口座に振り込んだ後、連絡が取れなくなり、商品も届きません。業者との連絡手段はメールのみで、自動返信しか来ません。

「商品未着」のトラブルでは、業者と連絡が取れないのであれば、解決が難しい場合がほとんどです。



## ネットショッピングの注意点

ネットショッピングは、通信販売でありクーリング・オフ(\*)できず、簡単に解約することはできません。ネット通販利用時は、以下のことに気を付けましょう。

☆割引率が大きかったり、他のショップでは品切れの商品が販売されていたりする場合は、「訳ありではないか」と疑いの目を持つ。

☆画面の表記や言葉使いに不自然さがないか、しっかり確認する。

☆返品や解約に関する条件を、申込前にきちんと確認する。

☆メールアドレス、電話番号、所在地の表記がある業者かなど、様々な角度から注文品や価格や業者について検討してから契約する。

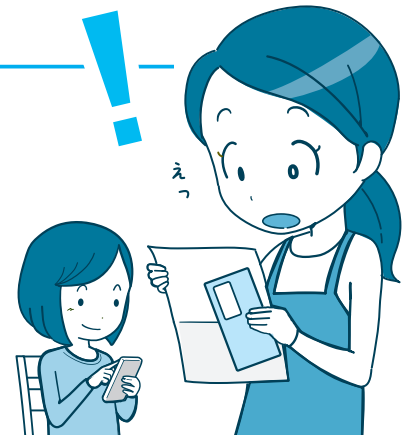
万一トラブルにあった場合は、居住地の消費生活センターに相談し解決をサポートしてもらいましょう。

\*クーリング・オフ…消費者が申し込みや契約をした場合でも、一定の期間に限り契約を無条件で解除できる制度です。訪問販売や電話勧誘販売など、不意打ち的な勧誘を受けやすい取引には、法律でクーリング・オフが定められています。法律で定められているほか、業者が自主的に定めている場合もあります。



## 定額サービスの請求

共働きのAさんは、スマートフォンやパソコンなどのデジタル機器を積極的に利用しています。週に1~2回食料品を買い足すために近所のスーパーを利用する以外は、インターネットショッピングに頼る毎日です。時間に追われる中、決済用クレジットカードの請求明細に目を通す余裕もなかったAさんですが、ある企業から毎月決まった額が引き落とされていることに気がつきました。久しぶりにアカウントを確認するとプレミアム会員登録がされています。お試し感覚でプレミアムサービスを利用したものの、無料期間が過ぎて定額料金が発生していたのです。



## アカウントの見える化と整理

ネットサービスを利用する時には、IDとパスワードの設定を求められることが一般的です。これをサービス利用の権利、「アカウント」といいます(IDとパスワードの組み合わせを指すこともある)。利用サイトが増え、管理できない状態になっていたAさんは、この機会にアカウントを整理することにしました。ショッピング、金融、旅行を含めた趣味に関するオンラインサービスは予想外の多さです。さらに、インストールしたまま利用していないスマートフォンのアプリやソーシャルネットワークワーキングサービス(SNS)にもアカウントが設定されています。これらをすべて洗い出し、頻繁に使うもの、たまにしか使わないもの、使っていないものなどにグループ分けした上で、使わないサービスは思い切って退会することにしました。



## アカウント放置の危険性

アカウントには、住所・氏名、決済用のカード番号など、重要な個人情報が保管されている場合があります。長期間放置されたアカウントからこれらの情報が流出し、他人がその人になりすましてサービスを利用するなど、ネットの安全性が脅かされる事態が発生しています。複数のサイトでIDとパスワードを使い回していると、被害はさらに拡大します。また、SNSのアカウントが盗まれた結果、本人が知らないところで悪意のメッセージが配信された例もあります。

オンラインサービスの利用明細は必ず確認し、アカウントは定期的に見直して不要なものは退会手続きをするなど、デジタル生活を安全かつ安心なものにできるかどうか、利用者の姿勢が問われています。



### STEP UP!

アカウントの整理に欠かせないIDとパスワードは、設定者しか知りえないよう厳重に保管すべきです。しかしコロナ禍の今、もしもの時の備えとして、これらの情報を託す相手を決め、伝えておく必要性も高まっています。

# スマホ決済を知ろう！

## スマホ決済とは

スマホ決済には、スマホに登載された無線通信系の技術を利用する非接触型決済(非接触IC決済)方式と、コード決済方式があります。非接触型決済方式は、店舗に設置された専用のリーダーにスマホをかざして決済します。コード決済方式は、バーコードやQRコード(\*)をスマホの画面に表示して、店側がバーコードリーダーで読み取るか、店側のコードをスマホのカメラを使って読み取り金額を入力して決済します。現金を持たずに買い物ができ、支払った金額や日時がスマホで確認・管理できる便利な支払手段です。ポイントがたまるという特典もあります。また、レジでお金の出し入れに手間取ることがありません。

(\*)「QRコード」は㈱デンソーウェーブの登録商標です。



## スマホ決済の精算方法

スマホ決済の支払方法には、①お金を先に「チャージ(入金)」しておく前払い、②スマホ決済のアプリに「デビットカード」を登録する即時払い、③「クレジットカード」を登録する後払いの3種類があります。

①のチャージは、コンビニ系のATMや登録しているクレジットカード、銀行口座などから行います。この場合、入金した金額しか利用できません。

②のデビットカードは、利用の際、代金が銀行口座から即時に引き落とされるので、口座の残高が足りないと使えません。残高の管理が必要です。

③のクレジットカードは、後日まとめて銀行口座から代金が引き落とされます。チャージの手間がなく便利です。



## スマホ決済の注意点

スマホ決済の注意点には次のものが挙げられます。

- スマホ決済を利用するには二段階認証やアプリのインストールなど、設定のための知識が必要です。
- セキュリティ対策として、必ずスマホの画面にはロックをかけておきましょう。
- 実際に利用するときは、アプリ対応店でしか利用できないので、対応しているか確認しましょう。また、アプリによって利用限度額があります。
- スマホの充電が切れると利用できないので注意しましょう。
- 通信環境が悪いと決済できない場合があります。
- 機種変更すると、チャージした残高を新しい機種に移行できないこともあります。機種変更前に調べておきましょう。

